

おおたの教育

第104号

大田区教育委員会広報

平成22年(2010年)
7月1日発行

今号の主な内容

- 第1面 子供たちの体力向上の取り組み
- 第2面 特別支援教育の取り組み
- 第3面 夏休み子ども対象事業
- 第4面 青少年委員・体育指導委員の紹介

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL.03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

子どもたちの体力を向上させるために

子どもたちの体力・運動能力の低下が問題になっています。健康で元気に暮らすには、体力はなくてはならないものです。運動能力は、日常起きるけがを未然に防ぎ、危険を回避する切り札になります。体力や運動能力の向上に必要な運動には、子どもたちの心身の健康に欠かせないストレスの発散やリラックスにも効果があるといわれています。また、体力と生活習慣にも深いかわりがあります。運動時間を増やし子どもたちの体力・運動能力を向上させるためには、学校の取り組みとともに、家庭、地域が連携していくことが大切です。



(写真：馬込東中学校)

子どもたちの体力・運動能力が低下しています

昭和60年頃から子どもの体力・運動能力の低下傾向が続いています。今の子どもたちは、「体を動かして遊ぶ時間」「体を動かして遊べる場所」「体を動かして遊ぶ仲間」の3つが不足しています。これには社会環境や生活様式の変化等、さまざまな要因が絡み、また、夜更かしや朝食をとらないなど生活習慣の乱れも影響を及ぼしていると考えられます。

30年前と比較すると、男女とも身長で2.8cm伸び体格は大きくなっていますが、50m走(男女とも0.1秒下回る)やソフトボール投げ(男子で4メートル、女子で2.3メートル下回る)など、ほとんどの種目で子どもたちは親の世代を下回っています。(文部科学省「子どもの体力向上ホームページ」より)

大田区の小中学生の体力・運動能力も同様の傾向があります

区立小・中学校では、全児童・生徒を対象に7種目(握力・長座体前屈

・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ)のスポーツテストを行っています。

その結果から、東京都及び全国の平均と比べ、体格は大きく変わらないものの体力・運動能力が若干下回っていることがわかりました。

21年度大田区立学校体力調査で睡眠時間などの生活習慣と体力・運動能力とは関連が深いことが明らかになっています。

子どもたちの学力の向上と同じく、体力の向上についても「早寝・早起、朝ごはん」といった基本的な生活習慣を身につけることが大切です。

教育委員会では21年度に策定したプログラムを基に、区立小中学校での体力の向上や基本的な生活習慣の確立を目標とした取り組みを積極的に進めていきます。

問合せ 指導課指導主事 TEL) 5744-1435 FAX) 5744-1665

～第1回中学生「東京駅伝」大会に出場 男子4位 女子8位 と大健闘!～

区立中学校では、さまざまな競技大会への参加を通して、体力向上の取り組みを進めています。

3月21日(日)に都内の51区市町村対抗の駅伝競走が中央区晴海埠頭で行われました。区からは21校から選抜された男子22人、女子19人の選手たちと、団長(山田稔雪谷中学校長)、総監督(新宮領毅東調布中学校長)をはじめ、監督、コーチ、養護教諭の総勢49人の皆さんが参加しました。男子の部17人、女子の部16人がゴールまでたすきをつなぎ、PTA関係者など大勢の方の応援を背に受けて、厳しい練習の成果を見せてくれました。

男子の部(42.195km) 2時間24分7秒 4位(参加51チーム)

女子の部(30km) 1時間52分10秒 8位(参加50チーム)

男女総合5位 敢闘賞受賞と優秀な結果を残しました。



男子チームの皆さん



女子チームの皆さん

～東京都が指定するスポーツ教育推進校の 取り組みの成果を生かして～

大田区では21年度は2校、今年度は3校が指定され、スポーツ教育を推進していきます。運動遊びの奨励やニュースポーツなど昨年度の取り組みを紹介します。この成果を広く各校に活かしていきます。

〈馬込小学校の取り組み〉

○体力・運動能力向上の取り組み

・馬込マラソントイム(登校後のラジオ体操と3分マラソン)、マラソンのタイムトライアル、中休みの拡大 など

○取り組みの成果

- ・身体を動かす習慣がつかえました。
- ・休み時間を5分延長したことで、外で遊ぶ児童が増え、給食をよく食べるようになりました。



マラソントイムトライアルの様子



朝のマラソントイムの様子

〈小池小学校の取り組み〉

○体力・運動能力向上の取り組み

・新しいスポーツで運動を楽しむ(Gボール、ヴォータックスフットボール、フラッグフットボール、キャッチバレーボール など)、チャレンジ水泳、異年齢集団活動での仲間づくり、協力ゲーム など

○取り組みの成果

- ・運動に親しもうとする意識が高まりました。
- ・「できた喜び」を味わうことで、子どもたちの自己肯定感が高まりました。



Gボールを使った授業の様子



チャレンジ水泳の様子

区立学校に電子黒板が導入されました

国の「学校ICT整備事業」を活用し、3月に区立学校全校へ電子黒板1台と大型液晶テレビ2台を導入しました。

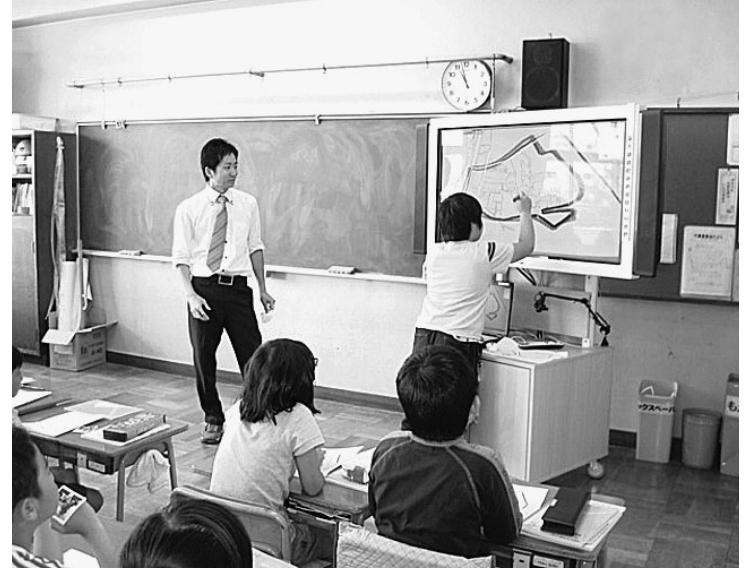
ブラウン管テレビの画面と比べて、格段に大きく鮮明で見やすい画像を映し出すことができるようになりました。これまで授業で使用していた教材・教具に加えて、電子黒板等のICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）機器を活用した新しい授業づくりを進めます。

授業では、次のような機能により、迫力のある映像や音声を効果的に活用し、学習への関心を高め、子どもたちの「確かな学力」の向上を図っていきます。

- ・タッチペンを使い、画面上に文字や印、図形などを着色して書くことができます。
- ・タッチパネルで次々と写真を提示することができます。
- ・地上デジタル放送やDVD、写真データの鮮明な画像を見せることができます。
- ・画面を使って、子どもたちの発表に使用します。（社会科や理科、総合的な学習の時間など）
- ・ノートや教科書、実物などを画面にそのまま大きく映し出します。

電子黒板や大型ディスプレイには、教室を移動させて使用することができるように、可動式スタンドを設置しました。校内での有効活用を進めていきます。

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



電子黒板を使った授業の様子（大森東小学校）

一人ひとりと向き合う教育を目指して

特別支援教育の取り組みを充実していきます

心身障害教育が特別支援教育に変わって4年目を迎えました。特別支援教育は学習障害（LD）・注意欠陥／多動性障害（ADHD）・高機能自閉症等のある幼児・児童・生徒一人ひとりの特別な教育的ニーズを把握し、個々のもつ能力や可能性を最大限に伸長するため、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものです。

平成21年6月に策定した「おおたの教育振興プラン」の重点施策の一つである「一人ひとりに向き合う教育アクションプラン」に基づき、特別支援教育について以下のような取り組みを充実・推進していきます。

（1）特別なニーズに応じた特別支援教育の充実～指導計画等の作成

LD等を含む障害のある児童・生徒一人ひとりの教育ニーズに対応した「個別指導計画」を作成し、指導の充実を図ります。

また、乳幼児から学校卒業後まで一貫性のある支援を行うため、医療機関や教育相談室などの、関係機関と協力しながら「個別の教育支援計画」を作成します。

（2）特別支援教育コーディネーターの配置

特別支援教育の推進役として、教員の中から特別支援教育コーディネーターを校長が指名しています。校内支援体制づくりの推進、担任への支援、保護者や関係機関との連絡・調整などを担います。

（3）支援体制の充実のために～学校特別支援員の配置

特別な支援を必要とする児童・生徒のために、学校特別支援員を配置します。

（4）特別支援学級の充実のために～通常学級との交流

特別支援学級に在籍する児童・生徒と通常の学級に在籍する児童・生徒の交流及び共同学習の機会を充実します。

（5）巡回相談の実施

臨床心理士等の資格をもち、発達心理の専門性を備えたスクールカウンセラーを各学校へ週1回以上派遣し、支援体制を整えます。

（6）エリアネットワークの構築

東京都立矢口特別支援学校を区エリアの中核的機関となるセンター校として、東京都立城南特別支援学校、東京都立田園調布特別支援学校、教育委員会、区立小中学校が日常的なパートナーシップを形成し、エリアネットワーク会議を開催します。

区内の教育・福祉・医療・保健・労働などの関係諸機関が連携し、LD等を含む障害のある幼児・児童・生徒の乳幼児期から学校卒業後までの一貫した支援を推進していきます。

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

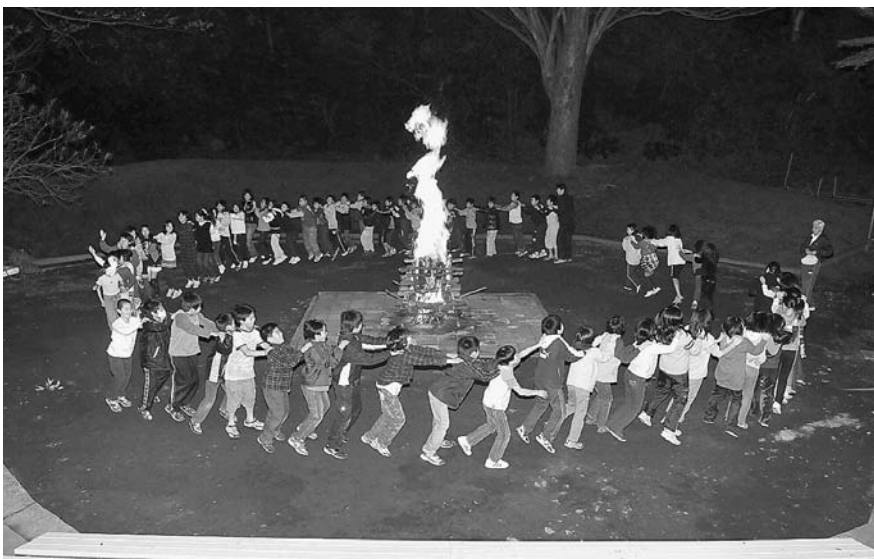
大田区立伊豆高原学園の改築基本計画を策定しました

昭和42年9月に開設され、老朽化が進んでいる伊豆高原学園の改築基本計画を策定しました。

策定にあたっては、雨天時の活動場所の拡充、環境・自然教育の支援、地域との交流を促進することによる現地ならではの学習の充実等、学園機能の拡充を図ることを基本に、学校未利用期間の区民利用にも配慮しています。

改築基本計画は区ホームページ、区政情報コーナー、学務課窓口にて閲覧できます。

問合先 学務課校外施設整備担当 TEL 5744-1706 FAX 5744-1536



伊豆高原学園での移動教室の様子

夏休み子ども対象事業のご案内

郷土博物館

(南馬込5-11-13)

主な交通手段 ◆地下鉄「西馬込」駅から徒歩8分。
◆「大森駅」山王北口から東急バス「荏原町駅入口行き」で「万福寺」下車徒歩2分。

申込方法
いずれも7月11日(日)から電話受付(先着順)
TEL 3777-1070 FAX 3777-1283



完成した六郷のとんび凧(昨年度)

開催日時	内容	対象/定員	費用/持ち物
7月21日(水) 13:30~16:00	縄文時代の耳飾づくり [東京都埋蔵文化財センター協力] 縄文時代の石製耳飾を作ります。	小学生以上 30名	300円 タオル
7月22日(木) 13:00~16:00	ペーパークラフト「複葉機」づくり 大正5年に羽田の干潟から飛び立った玉井清太郎の二枚羽根の飛行機「日本号」のペーパークラフトを作ります。	小学3年生 以上40名	100円 はさみ
8月1日(日) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00	勾玉づくり [実験考古学研究会協力] 青田石を加工して自分だけの勾玉を作ります。	小学生以上 各30名	300円 タオル
8月3日(火) 13:00~16:00	麦わら遊び「ホタルカゴづくり」 麦わらで昔の虫かごを作ります。	小学3年生 以上30名	はさみ
8月4日(水) ①9:00~12:00 ②13:00~16:00	麦わら遊び「大森麦わら張り細工」 染色した麦わらを木箱や額に張って、世界で一つの麦わら張り細工を作ります。	小学3年生 以上各30名	355円 はさみ
8月5日(木) 10:00~16:00	六郷のとんび凧づくり [六郷とんび凧の会協力] 江戸時代の終わり頃から六郷地区で作られていた“とんびの形をした凧”を作ります。	小学4年生 以上と 保護者15組	1,500円 はさみ 昼食
8月6日(金) 9:00~16:00	大麦の脱穀と麦こがしづくり 昔の農具を使って麦を脱穀し、麦こがしや麦茶を作ります。	小学3年生 以上30名	タオル 昼食

大森 海苔のふるさと館

(平和の森公園2-2)

主な交通手段 ◆京急「平和島駅」から徒歩15分
◆「大森駅」から京急バス「平和島循環」で「平和島5丁目」下車徒歩3分。

申込方法
いずれも7月11日(日)から電話受付(先着順)
TEL 5471-0333 FAX 5471-0347

開催日時	内容	対象/定員	費用/持ち物
7月25日(日) 9:30~12:30	浜辺の生き物探検隊 [東京海洋大学海洋科学部協力] ふるさとの浜辺の生き物を通して海とくらしの関係について学びます。	小学3年生 以上20名	100円 タオル
7月29日(木) 13:00~16:00	ペーパークラフト「ベカブネづくり」 紙の海苔船づくりを通して、地域の伝統産業を振り返ります。	小学3年生 以上30名	100円 はさみ
8月22日(日) 9:30~12:30	浜辺の生き物探検隊 [東京海洋大学海洋科学部協力] ふるさとの浜辺の生き物を通して海とくらしの関係について学びます。	小学3年生 以上20名	100円 タオル



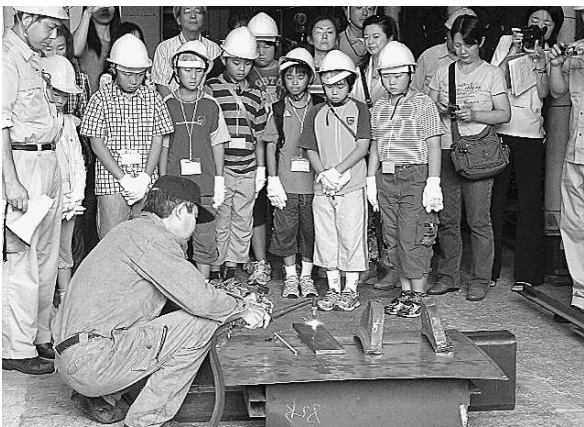
教育センター 子ども科学教室

(池上会館3F科学室)

申込方法 いずれも 往復はがき(抽選)
講座名、参加児童と保護者の氏名・ふりがな、
学校名、学年、住所、電話番号を明記のこと
申込締切 いずれも 7月25日(日) 必着
申込・問合せ先 教育センター教育図書室
〒146-0082 大田区池上1-32-8
TEL 5748-1306 FAX 5748-1390

開催日時	内容	対象/定員	費用/持ち物
8月20日(金) 10:00~11:30	子ども講座「水の中で踊る浮沈子作り」 水圧によって浮き沈みする浮沈子に工夫を加えて楽しい動きを作り出します。	小学5年生 ~中学2年 生40名	無料 筆記用具 レジ袋
8月24日(火) 10:00~11:30	親子講座「七変化万華鏡作り」 ビーズ等を入れるキャップの部分をビー玉や液体入り試験管に替え、ちょっと変わった万華鏡を作ります。	小学3・4 年生と保護 者20組40名	無料 筆記用具

その他の事業



昨年度の産業のまち発見隊での工場見学の様子

産業のまち発見隊

- ▼日時 7月23日(金) 9時~16時30分
- ▼会場 区内工場、城南職業能力開発センター大田校
- ▼対象 小学4~6年生と保護者
- ▼定員 25組50名(抽選)
- ▼参加費 無料(昼食・筆記用具持参)
- ▼申込方法 往復はがき
事業名、参加児童と保護者の氏名・ふりがな、
学校名、学年、住所、電話・FAX番号を明記のこと
- ▼申込締切 7月12日(月) 必着
- ▼申込・問合せ先 社団法人 大田工業連合会
〒144-0035 大田区南蒲田1-20-20
TEL 3737-0797 FAX 3737-0799

夏休み子ども手話教室

- ▼日時 7月27日(火)~29日(木) 10時~12時
- ▼会場 大田区社会福祉センター6階会議室
- ▼対象 3日間参加可能な小学4年生~中学3年生
- ▼定員 20名(抽選)
- ▼参加費 無料
- ▼申込方法 往復はがき
講座名、氏名・ふりがな、年齢、学校名、
学年、住所、電話番号を明記のこと
- ▼申込締切 7月12日(月) 必着
- ▼申込・問合せ先 ボランティア・区民活動センター
〒144-0051 大田区西蒲田7-49-2
大田区社会福祉センター5階
TEL 5703-8230 FAX 3736-5590

平成22・23年度 青少年委員と 体育指導委員の紹介



教育委員会では、特別出張所ごとに推薦された方を青少年委員・体育指導委員として委嘱しています。青少年委員は地域における青少年教育の振興のために、体育指導委員は地域におけるスポーツ振興のために、皆さんの身近なところで幅広く活動しています。

青少年の教育や育成活動、スポーツ活動に関するご意見やご相談等は、お気軽に地域の各委員にお寄せください。

問合先 社会教育課 事業担当 TEL 5744-1447
 青少年担当 TEL 5744-1223
 FAX共通 5744-1539



青少年委員は
次 世代を担う子どもたちが地域の中で健やかに成長できるように、地域の教育力の向上を目指す“地域の青少年教育の推進者”が青少年委員です。
 地域の青少年団体や学校等の関係機関との連携・調整を行うほか、青少年活動の支援や各種の相談活動、青少年団体の交流促進等、地域の青少年教育のコーディネーター・指導者として活動しています。

体育指導委員は
誰 もが身近な地域で生涯にわたりスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現を目指す“地域のスポーツ振興の推進者”が体育指導委員です。
 体育指導委員は、スポーツに関する情報提供や助言・指導等、区民の皆さんがスポーツについての理解を深め気軽に参加できるように、地域と行政及び区民相互のコーディネーターとして活動しています。

平成22・23年度の青少年委員と体育指導委員（平成22年5月1日現在）

地域	青少年委員					地域	体育指導委員				
大森地区	大森東	伊藤 音嗣	比戸 二郎	伊藤 明美		大森東	伊藤晋一郎	川崎 愛子			
	大森西	田中 清一	馬場 陽子	丸山 幾子	岩附 弘二	大森西	奥地 彰一	和田 文子	井上 智子		
	入新井	佐々木久江	早川 宣子	小澤 純子		入新井	谷 哲也	安田 利之	安長 一江		
	馬 込	大串 晴代	中山 秀美	中村 由実		馬 込	横山 仁美	葛西 光一	木下 敏龍	村尾 正彦	
	池 上	中島 俊弘	藤田 義輝	齋藤 章子		池 上	荒木 弘子	宮崎 昇	井出 幸子	西村 哲	
	新井宿	水島 玲子	溝口美枝子	廣瀬 晴美		新井宿	菊池 司郎	伊藤せい子			
調布地区	嶺 町	長久保伸一	片岡 雄子			嶺 町	高井 和恵	菅原 弘子	池田千津子		
	田園調布	齊藤 一郎	清原きょう子	加藤 寿彦		田園調布	飯島 高尚	黒崎あつみ	嶋崎 恭子		
	鶉の木	曾根千鶴子	三好 広美	有蘭 芳章		鶉の木	児山 光子	岩間 弘	森田 光一		
	久が原	座間美佐子	緑川 京子	船木 伸子		久が原	石井 夕子	徳富 朋子	富田 浩司		
	雪 谷	高島 七重	田島 政文	山田 信也	榊中 規男	雪 谷	井田美由貴	永久保美代子	月居 利久	御子神典雄	
	千 束	堀 幸子	守口 千重	土屋 正史		千 束	小澤 清臣	山崎 裕一			
蒲田地区	花 谷	吉澤誠一郎	土屋 恵子	長坂 有子	高橋 明宏	花 谷	兼子 典一	松原 敏彦	新谷 篤子	伊東 義高	
	羽 田	金田 行英	渡司 幸	鈴木 正道		羽 田	津田 尚孝	邊見 和子	矢吹 三枝	西種子田公一	
	六 郷	三浦 利夫	出川和加子	小林 広子	鮎沢 博	六 郷	石渡 義仁	穂積 隆治	岩崎 哲	高塚 時彦	
	矢 口	朝永 雅美	持田智鶴子	浜田 和久	金見 春彦	矢 口	瀧園 利文	渡邊 尚子	中島 力	渡辺 義太	
	蒲田西	西村 啓子	松本 君代	山中 一義	廣瀬 裕二	蒲田西	岩井 定子	花島 学	佐藤 元子	小林 範明	
	蒲田東	山口 勝朗	小倉 孝子	荒井 光代		蒲田東	渡邊 一代	石澤 善典	戸田 肇	山根 洋二	

表彰 学年は受賞時のものとしています

- スポーツ部門
 - ・第9回全国小学生ソフトテニス大会出場
西六郷小学校4年 高杉龍二
蒲田小学校4年 馬場洸希

教育委員会の主な議題

- 平成22年第1回臨時会
 - ・大田区立御園中学校への指定校変更不許可に係る異議申立てについて
 - ・大田区立大森第三中学校への指定校変更不許可に係る異議申立てについて 他1件
- 平成22年第3回定例会
 - ・大田区教育委員会が管理する公文書の開示に関

- する規則の一部を改正する規則
 - ・大田区教育委員会が管理する個人情報の保護に関する規則の一部を改正する規則
 - ・大田区教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則 他3件
- 平成22年第4回定例会
 - ・大田区教育センター条例の一部改正する条例原案の提出について
 - ・大田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例原案の提出について
 - ・伊豆高原学園改築基本計画の策定について
- 平成22年第5回定例会
 - ・平成22年度第一次補正予算要求原案について

教育委員会定例会・臨時会の開催予定日

- 日時
 - ①平成22年7月21日(水)
 - ②平成22年8月4日(水)
 - ③平成22年8月5日(木)臨時会
 - ④平成22年9月22日(水)
- 時間 午後2時から
- 場所
 - ①本庁舎11階第五・六委員会室
 - ②③本庁舎2階201~203会議室
 - ④本庁舎6階教育委員会室

※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。

問合先 教育総務課庶務係
 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535